

- 令和元年度 - 「町長室」 出前懇談会

町の課題を知り、みんなで解決策を考えよう



- 自己決定・自己責任 -

地方分権時代の

問われる自治体

“3つの力”

自治力・財政力・行政力

累積赤字解消後の当町の3つの課題「①健全財政の維持」

「②公共・行政サービス水準の維持向上」「③地域の活性化」の両立を目指した町づくりの重要性への理解を深め、みんなでその克服や解決の方策を考える「町長室」出前懇談会が、2月14日から2月21日まで、9地区で開かれ、延べ138名の町民の皆さんが参加しました。

町長や担当課長から『町財政の現状』や『今後大きな財政負担が見込まれる懸案課題』についての説明があり、活発な質疑や意見が出されました。

1 町の財政状況

①健全財政の維持

10億4,600万円もの多額の累積赤字を抱えた当時の反省から、「赤字」と「借金」の違い、地方債（借金）の残高、有利な借金の種類と、その活用事例、基金（貯金）積立残高の推移や他町村との比

較、地方交付税の使途、一般会計から特別会計への赤字補填の状況などを紹介。

②公共・行政サービス水準の維持向上

近隣町村との上下水道料金やごみ袋料金、学校給食費などの町民負担の比較を紹介。

③地域の活性化

第1期（平成27年度～令和元年度）地方創生事業の主な取組状況として「積丹GIN開発事業」、「ウニ殻の有効活用試験」、「大型魚礁設置事業」、「ゲンキ応援プロジェクト」の紹介と、第2期（令和2年度

～6年度）に向けて町が検討中の総合戦略の方向性を説明。

2 今後大きな財政負担が見込まれる懸案課題

『岬の湯しゃこたんの民営化』、『IP電話システムの老朽対策』、『役場庁舎の老朽化対策』、『ごみ処理費用の増高対策』、『火葬場の老朽化対策』、『町の46収入項目中5項目の消費税率引上げ（7ページ第2回町議会臨時会参照）』について、それぞれ説明を行いました。

月日	会場	対象地区	参加人数
2/14	野塚地区ふれあい交流館	野塚町	21名
2/17	幌武意寿の家	幌武意町	12名
	入舸会館	入舸町	12名
2/19	来岸会館	来岸町 西河町	10名
	日司生活改善センター	日司町	20名
2/20	神岬会館	神岬町	12名
	余別地区コミュニティセンター	余別町	22名
2/21	婦美会館	婦美町 丸山	10名
	総合文化センター	美国町	19名
5日間	9会場	11地区	138名

※参加人数は議員等含む

公共・行政サービス水準の維持向上

■ 他の町村と比べて積丹町は？ ～「充実度と負担」が「高いか低い」の施策例～

<他町村より負担が低いもの>

【学校給食費】

(R1. 4. 1 実施状況)

町村名	給食費 (月額)	
	小学校	中学校
余市町	4,205 円～ 4,445 円	4,500 円～ 5,016 円
古平町	4,383 円	5,204 円
仁木町	4,398 円	5,077 円
赤井川村	4,398 円	5,077 円
積丹町	4,200 円	4,900 円

※余市町は、学校ごとに負担が異なる

【インフルエンザ予防接種助成】

(R1 実施状況)

町村名	対象	自己負担額	
余市町	65 歳以上	【生保】	無料
	中学生以下	【生保以外】	1,000 円
古平町	65 歳以上	【生保】	無料
	高校生以下	【生保以外】	600 円
仁木町	全町民 (1 歳未満除く)	【生保】	無料
		【生保以外】	1,000 円
赤井川村	65 歳以上	【生保】	無料
		【生保以外】	1,000 円
積丹町 (1 歳未満除く)	全町民	【生保】	無料
		【満1歳～18歳】	無料
		【65 歳以上】	非課税世帯無料
		【上記以外】	1,000 円

※接種費用 (北後志共通) : 3,462 円 / 回 (幼児・小学生は2回接種)

<他町村より充実していないもの>

【乳幼児等医療費無料化】

(R1 実施状況)

町村名	対象年齢	
	入院 (医科)	通院 (医科)
余市町	中学 3 年生まで	中学 3 年生まで
古平町	高校 3 年生まで	高校 3 年生まで
仁木町	中学 3 年生まで	中学 3 年生まで
赤井川村	中学 3 年生まで	中学 3 年生まで
積丹町	小学 6 年生まで	小学校就学前

これらの「子育て」や「福祉」分野の町のサービスの多くは、皆さんからいただく町税や国からの地方交付税で賄われています。

しかし、平成 30 年度の地方交付税は約 15 億 6,400 万円で、人件費や扶助費、組合負担金など義務的な経費だけでも不足しているのが現状です。

■ 厳しい財政状況の中でも、なぜ懸案の事業ができるの？

<島武意通り線道路改良事業 (事業費：4,676 万円) の例>

財 源 の 内 訳		
国補助金	借金 (辺地債)	①町負担 (町民税等)
3,073 万円	1,590 万円	13 万円

※ H30 実施

返 済 財 源 の 内 訳	
国の地方交付税支援 8 割	②町負担 (町民税等) 2 割
1,272 万円 + 利息 6,770 円	318 万円 + 利息 2,902 円
10 年間の返済総額 : 1,590 万 9,672 円	

(注) 償還年限 : 10 年、利率 : 0.01%

10 年間分の実質的な町負担 (町民税等)

① 13 万円 + ② 318 万 2,902 円

= 331 万 2,902 円

事業費 4,676 万円の 7%

「国・道の補助金」と、「有利な借金 (地方債)」を活用しているためです。

■ 今後、大きな財政負担が見込まれる懸案課題

- ・ IP 電話の老朽対策
- ・ 役場庁舎の老朽対策
- ・ ごみ処理費用の増高対策
- ・ 火葬場の老朽対策 など